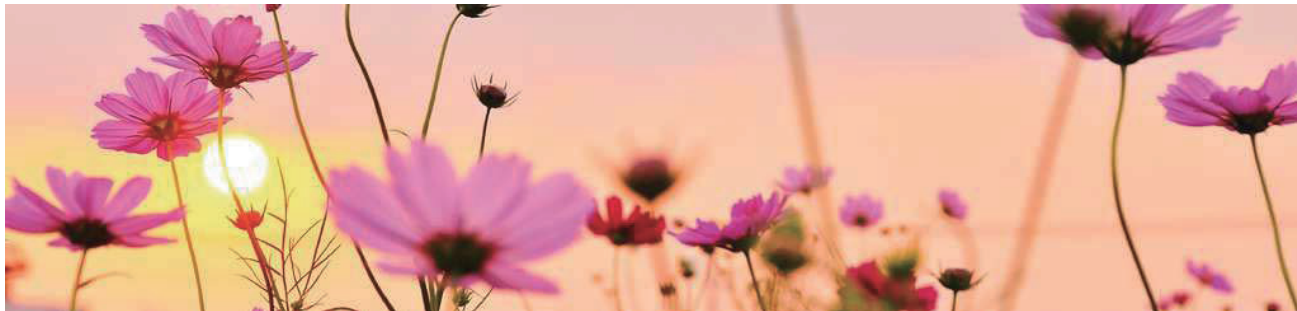




古民家 de がんす

一般社団法人全国古民家再生協会広島第一支部 活動報告 2016年秋号



一般社団法人全国古民家再生協会広島第一支部，〒731-0222，広島市安佐北区可部東 5-22-33-10
<http://www.kominka-hiroshima.org/> info@kominka-hiroshima.org 082-814-5302

1 古民家鑑定を行いました ～府中市本町～

府中市本町の『旧平地呉服店』さんから講習場所として当所をご提供いただき、鑑定士の技術研鑽を目的に、古民家鑑定実技講習を行いました。

広島支部所属の鑑定士だけでなく、県外からの鑑定士さんにもご参加いただき、普段お会いする機会のない皆さんとの交流も楽しめました。

【平地呉服店】さんは、昭和8年に建築され、築83年になる和洋折衷の看板建築（正面だけを装飾した洋風の外観を持つ店舗併用住宅の町家様式）です。呉服屋さんでありながら洋風な外観は、当時としては、モダンでオシャレな当商店街のシンボリックな存在であったことが偲べれます。



昭和レトロな、ほんどり商店街の象徴的存在

各所において目視・実測により、ひび割れ・腐食・剥離・傾斜などの劣化程度を調査しました。

また古民家鑑定においては、劣化箇所の調査のみならず、優れた職人の技や貴重な部材の使用なども調査し、相対的な鑑定を行ったうえで、将来の保存修繕計画を導き出します。その結果、現況保存・修繕修復・解体・部材活用などや今後の利用方法等についてもご提案していきます。

「古民家」とは
築50年以上経った
建物を古民家と
定義します。

「古民家鑑定士」とは
築50年以上の住宅を
調査鑑定し、古民家鑑
定書を発行することが
できる資格です。

モダンな装飾やアールを用いた素晴らしい外観である反面、内部は当時の職人さんの伝統的な技が偲ばれる凝った意匠の欄間・手すり・窓枠、夏の設えの御簾なども多くみられ、見ごたえいっぱいの鑑定となりました。

本物の持つ説得力に、実際に眼で観る・触れることの重要性を再認識し、日々勉強だと実感できた講習となりました。今後も数多くの実技経験を重ねて、より専門性を高める機会を増やして、皆さんのお役に立ちたいと思っています。

【古民家鑑定士 高橋尚江】

2 古民家レポート ～広島近郊の素敵な古民家のお店を紹介します～



築150年の古民家を改装した「Itonami Cafe」

山口県柳井市の静かな山里にある「Itonami Cafe」さんは築150年の古民家を改装したお店です。

高い天井の土間から、靴を脱いで店内に入ると、何とも落ち着く空間… 仲間たちとコツコツと作られた「想い」が随所に散りばめられています。古民家の持つ落ち着きと、店内の小物の相性がとても良いのも印象的です。

地元産の小麦粉を使ったパンは優しい味でクセになります♪

本とパンとあと何かのカフェ

Itonami Cafe

住所／山口県柳井市日積 3060

営業時間／11:00～17:00

定休日／火・水・木曜日

連絡先／0820-28-0067



思わず「ただいま～」と言いたくなる懐かしさを感じる

私がおすすめします！ 古民家鑑定士 柳川顕児
東北から移住してこられたご夫婦が、地域の方やご友人と協力して改修された「Itonami Cafe」さんは、あたたかさの溢れる癒しの空間です。

驚くのは、お店は元々はお知り合いの方に「譲っていただいた古民家」だということ。「家」を譲ってもらうことも凄いことですが、譲り受けた古民家をこんなに素敵な空間に蘇らせたご夫婦の力にも感動する、そんなお店です！



でんがく
vol.1 田楽

料理教室「季節の味を愛でる会」主宰・あや

古民家の魅力のひとつ、囲炉裏——。

部屋を暖める暖房器具としての役割だけでなく、家を灯す照明でもあり、皆が囲む調理の場でもあります。

静かに揺らぐ炎をじっと眺めていると、いつもより時の流れが穏やかに感じられるのではないのでしょうか。

今回、ご紹介するのは蒟蒻や豆腐、里芋の田楽。

囲炉裏で煮る田楽は古来より日本各地で食べられてきました。

もちろん広島でも日常の食事の他、様々な行事食にも欠かせない郷土料理となっております。

グリルで
つくる

蒟蒻・豆腐・里芋の田楽

【材料】

- ・板蒟蒻
- ・焼き豆腐
又は厚揚げ
- ・里芋(小)
- ・なめ味噌、
金山寺味噌など
又は
- ・味噌
- ・砂糖又は蜂蜜
- ・みりん

【つくり方】

1. 蒟蒻は平たい三角に切り、熱湯で5分くらい茹でてアクを抜きます。豆腐は平たく切って水気を拭いておきます。里芋はよく洗い、串が通るくらいの柔らかさに蒸してから皮をむきます。
2. なめ味噌や金山寺味噌などが無い場合は味噌にみりんや砂糖を混ぜて作ります。
※味見をしながら砂糖や蜂蜜を少しずつ混ぜ、好みの味にします。照りと風味を増すために、みりんを混ぜても良いです。みりんは入れすぎないように。味噌がゆるくなります。
3. 蒟蒻、里芋、豆腐に竹串を刺して味噌を塗り、魚を焼くグリルやトースターで焼き色が付くまで焼いたら完成です。

※竹串は水で濡らしておくか、アルミホイルを巻くと焦げにくくなります。



季節の味を愛でる会のブログ「箸休め」 <http://kisetsunoaji5141.blog.fc2.com/>

3 中四国地区会員大会に参加して

6月11日に愛媛県松山市で全国古民家再生協会中四国地区会員大会が行われました。

まずは、^{しききねんはくぶつかん}子規記念博物館にて開会式が行われ、主幹を務められた愛媛第一支部 八軒支部長より「古民家に代表される日本人の生き方を次の世代に伝えていこう」と挨拶を頂きました。

続いて、全国古民家再生協会監事 河野監事より、熊本地震の被災地支援に関する報告や今後の展開などについてのお話がありました。



愛媛第一支部 八軒支部長のご挨拶



池内剛三氏による特別講演

665年に創建された建物ですが、2013年8月に火災で本堂と庫裏が全焼し国の重要文化財である木造一遍上人立像などが焼失したそうです。寄付などを募り、2014年11月から工事が始まりこの度、2016年3月に完成しました。

石段を上りきると、本堂で使用されている^{ひのき}檜の香りが迎えてくれました。



檜の香りに包まれていた本堂



道後温泉や松山城を見守る歴史深い八幡宮

その後、^{いさにわじんじゃ}伊勢爾波神社へ内覧に行きました。国の重要文化財に指定されている^{しゃでん}社殿は、2棟の建物を前後に連結させてひとつの社殿になった^{はちまんづくり}八幡造で、全国でも三例しかない大変貴重なものとのことでした。

夜には懇親会も開催され、中四国を中心に集まった約40人の古民家鑑定士と語り合い、大変良い経験をさせて頂きました。

中四国大会で学んだことを広島での活動に、是非、活かして頑張っていきたいです！

【古民家鑑定士 貴船一樹】

4 「新民家」って何…？ ～未来の「古民家」となる家～

「新民家」という言葉をご存知でしょうか。「古民家」に比べると聞きなれない言葉だと思います。「新民家」とは古民家のように長期間住まい続けることが可能な新築木造住宅のことです。

新築として建てた新民家は、50 年後には、趣も加わり風情あふれる古民家となります。建てては壊す住宅づくりとは全く反対の考え方で、～未来に繋ぐ～をコンセプトにした家づくりが新民家なのです。

新民家の家づくりでは①国産の自然乾燥材を50%以上使用すること、②大工職人の手刻みによるハンドプレカット加工を行うという2つの基本ベースがあります。



木の個性を見極めながらの仕事です

まず、①の国産の自然乾燥材についてです。木材の乾燥方法には、自然の風で乾かす「自然乾燥」と、短時間熱風などで機械を使った「人工乾燥」の 2 種類があります。現在では、人工乾燥が主流となっていますが、私たちは短期間での乾燥は素材である木にとって良くないと考えており、あえて時間のかかる自然乾燥材にこだわっているのです。

次に②のハンドプレカットについてです。ハンドプレカットとは、現在の住宅で主流になっている機械加工と違い、大工職人の手刻みにより木材を加工することです。加工する木材を丁寧に確かめ、将来のソリやねじれなどの木の癖を見極め適材適所になるように加工してきます。

このハンドプレカットでは「古材」を加工することもできます。古材とは築50年以上の建物から取り出された木材のことです。

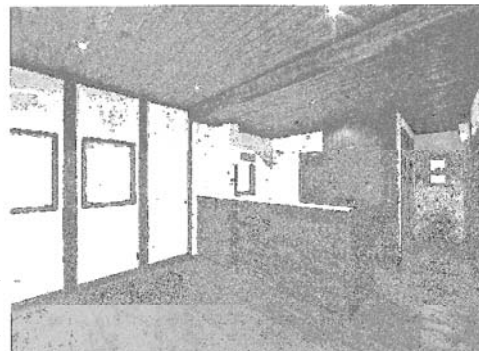
思い出の詰まった古民家をやむを得
えず解体する場合でも、古材を新民
家に再利用することにより、その想
いを受け継ぐことができるのです。

また、新築でありながらも、昔からそこにあったかのような懐かしさを感じることができるのも古材の魅力の一つです。

「新しい時代の家づくりを目指す」

新民家の担う大きな役割だと思い、日々活動しています。

【古民家鑑定士・広島県新民家推進協会 会長 石田照輝】



全國の古民家調査報告書
（東京）の巻頭に「民間」
と題し、(一)屋内の装飾設備工
社と建設業界で働く
個人数人が一日、初の
築造現場を視察として参
立した。古民家を解体
する現場で他者の建材
の有様や価値を鑑定し
たり、住環境改善に資
する人々が古民家の建材
活用を提議したりす
る。

古民家は、島嶼で
古民家のほとんど全量利用し
てきた「旧民家」の例

文夫は國策大佐が傳へ
れてゐるものが多く、
有効活用するものが目
的。足らぬが自然素材
の建材であるため、家庭
の長寿化にもつながる
という。県内に北谷町
戸以上ある空室率はおよ
ぼ半ばに達しているとい
ふ現状は、増えれば定
年者層が増える。

今後、県内の建築業
社や下請け、金融関係
会が創設した「古材研
究会」が取得を促す
などして資源を増やせ
ます。協会が空き家にな

柱・はり…再利用

県組織が発足

土國家の柱や桁は使われている。土國材を新築建物の材料に使つてゐる。保土と云ふ、美因の建築業者などは、保土材を賣つた。土國家の材木など、を使つて建つた家を「新國家」と云ひ、普及に向けて活動している。煙草も土國家の國產物減少、産物化が進む中、土國家の建坪につなげる道い。

(板石大輔)

国産推進 空き家解消

古民家
建材で
新民家

[illegible]

5 古民家講座 ～もっと伝えたい！古民家の魅力～

古民家鑑定士による古民家の豆知識をお伝えします！

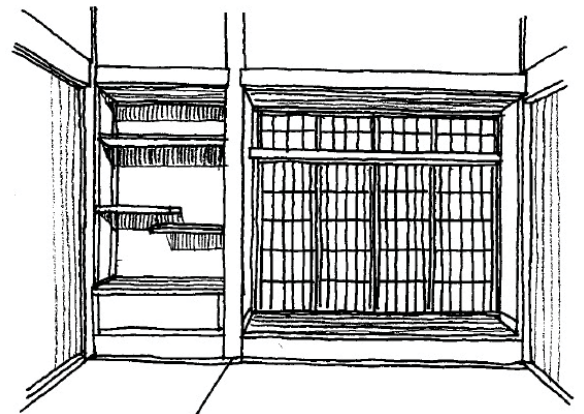
■ 床脇 ■

床脇は床の間の横に造られる^{ちがいだな}違い棚や^{じぶくろ}地袋で構成される空間で床の間とは無関係である。本質的には巻物や文具類を置く棚であり、机に相当する^{つけしよいん}付書院との関連が深い。

床脇は銀閣寺として有名な^{じしやうじとうぐどう}慈照寺東求堂では、一間の付書院と半間の違い棚が並んで張り出し、床の間はない。当時は機能上、床の間より違い棚の方が縁側近くに配置された。

その後、本来の機能を失い、単なる座飾りとして縁側に近い方から、付書院、床の間、床脇と並ぶようになり、今日に至る。

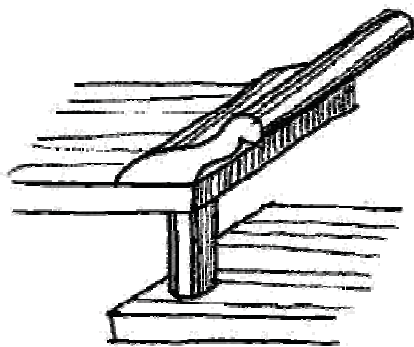
床脇の大きな変化は奥行きである。現在の奥行は床の間と同じ半間だが昔は半分しかなかった、奥行きが深くなった事で、違い棚と座敷の間に空間が生まれ意匠も多様化された。



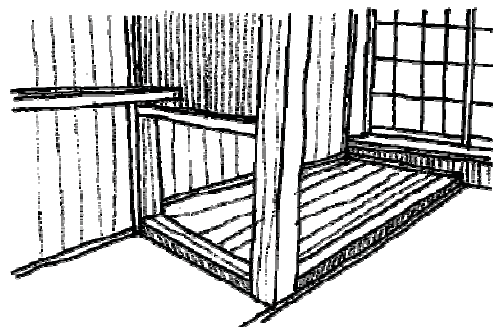
【慈照寺東求堂の床脇】

違い棚に見られる^{ふでかえし}筆返しは筆の転がりを止める役割もあるが、板の反りを防ぐ^{すいつきざん}吸付棧の役目も負う。

床の間と床脇の間の壁のくりぬかれた部分で「^{ちんぐり}独潜」は吹き抜け、「^{ししかきまど}獅子垣窓」は竹を格子状に組み入れたものをいう。



【筆返し】



【独潜・獅子垣窓】

6 古民家情報 in 広島 ～古民家に住みたい！貸したい！売りたい！をサポート～

広島第一支部にご相談をいただいている、古民家活用や移住の希望情報です。掲載希望（無料）や情報の詳細については当支部までお問い合わせください！

●広島市安佐南区吉山周辺で古民家を探しています！

陶芸のできるような広い土間のある物件を探しています。売買物件を希望します。

●広島市内から半径15キロ以内に古民家を探しています！

平日は市内へ会社勤めをされておられ、余暇としての古民家利用を検討しています。

賃貸、売買、どちらも視野に入れています。

●広島市西区～草津の古民家を探しています！

店舗として利用可能な物件で、賃貸、売買、どちらの可能性も視野に探しています。

隠れ家的なイメージで進めたいので、必ずしも、メイン通りに面する必要はありません。

●東広島市安芸津町の古民家を貸したいです！

築105年の古民家です。しっかりした構造で、床下補強もされています。

屋根瓦は一部修繕が必要な箇所もありますが、少し手を加えれば、今後さらに長い時間生活できそうな建物です。



●ゲストハウスとして活用したいです！

大竹～岩国方面でゲストハウスとして使える古民家を探しています。詳細は応相談。

アクティブに、丁寧に、日々を愉しむ
広島のオトナ情報誌

coccala

秋号（9/10発売）で取材をして頂きました(*^^*)



鑑定士が語る
広島
の古民家
の
魅力
と
可
能
性



7 わたしの好きな街 ～宮島の町屋通りに魅せられて～

私は旅好きで東北から東海、北陸と古い民家が多い街並みをみてきました。テレビや新聞で色々と情報を集めます。テレビはビデオ録画し、新聞は切り抜き自分専用の引出にファイルしておき、3月～4月の桜の季節に合わせて出かけます。1年で私が一番好きな季節、癒される時期です。

民家が好きで、つい古い町並みに足が向いてしまいます。どこの県に行ってもそういう古い町並みはあり、その地方独特の特徴のある民家を見ることができます。



そこに暮らす人に息づかいを感じる素朴な街並み「町屋通り」



歩行者や自転車が行き交う生活の場

広島にも私の好きな町並みがあります。それが「宮島の町家通り」です。

町家通りは表参道から1本裏にあり、かつて「生活通り」「裏通り」と呼ばれていました。江戸時代から続く町家が今も残されていて、人々の生活がそこで営まれてきたことが分かります。

宮島の栈橋から鳥居まで、大半の観光客は表参道を通りますが、裏通りは生活道で町民が自転車で行きかい、井戸端会議もよく耳にします。いわゆる人工的に作ったり、保存している景観ではなく、現在の宮島の生活を見ることができます。お洒落ではないが、風情のある面白い光景です。ふと上を見ると、朱色の五重塔が見えてくる、まるで室町時代にタイムスリップしたかのような光景にも出会います。



風景に溶け込む五重塔を見ることができます

また町家通りに面している名家の玄関先には和紙で作られた行灯の灯りで統一され、その一面が壁に貼り付けられて飾られています。その絵はすべて地元の作家による作品とのことで、数か月ごとに貼りかえられるのですが、すでに1年先まで作品が決まっているそうです。

夜間にはこの軒先にかかる^{あんどん}行灯に明かりがともされ、昼間とはまた違ったしっとりとした情緒と歴史を感じさせる街並み、そしてそこに暮らす人々の息づかいや体温が伝わってくるのが「宮島の町家通り」の魅力です。



風情ある行灯は町屋通りの象徴的存在

8 広島支部 会員のご紹介

●^{きぶね かずき}貴船 一樹

古い物が大好きで、自ら集めた古材とノウハウで自宅を建築。「ワクワクする古民家」をテーマに活動をしています。

所属/（有）キブネ建設

●^{ど い かずのり}土居 一憲

今まで、仕事ではコンクリート造や鉄骨造が主体ですが、本物の木造が大好きです。

古民家にこだわることなく棟梁の技術など興味を持っています。

所属/（株）オービット設計

●^{ふじわら のりこ}藤原 紀子

生活感のある古民家が好きです

そこに住んでいる方のお話を伺って、一緒に当時に思いを馳せて楽しんでいます！

●^{いしだ てる き}石田 照輝

建築に携わってきて、日本古来の伝統構法、和に魅了され、この協会を通じて古民家の良さを発信していきたいと思っています。

所属/（有）石田土建

●^{たかはし なお え}高橋 尚江

建物・街並み・手仕事等、「古いもの・こと」なら何でも好きという想いだけで扉を叩き、うっかり（笑）開いた隙間に入った世界！

「古き良き」を発受信できる、お節介な窓口を目指しています！

●^{やながわ けんじ}柳川 顕児

現在祖父が当時の仲間と建てた家に住んでいます。

築年数が経っていても、古くなっても愛着を持って今後も住み続けたいと思います！

●^{やまもと あきひろ}山本 晃弘

昔ながらの風景が好きで、想いを共にする仲間に出会える会へ入会！会を通じて昔ながらの良さをじっくり見つけるきっかけづくりにします！

一般社団法人 全国古民家再生協会広島第一支部

731-0222 広島市安佐北区可部東 5-22-33-10

TEL:082-814-5302 FAX:082-516-7545

info@kominka-hiroshima.org

<http://www.kominka-hiroshima.org>

担当/

EDMINKA
古民家